

【添付書類】

1 法人にあってはその登記事項証明書
別添のとおり

2 主として販売する物品の種類

	小売業を行う者の氏名(名称)	主として販売する物品の種類
1	未定(スーパーマーケット)	食料品
2	未定(ホームセンター)	住・生活関連品

3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面
「図面 2 周辺見取図」、「図面 3 建物配置図及び 1 階平面図」、「図面 4 2 階平面図」のとおり

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

【指針により算出する場合】

	事 項 等	必要駐車台数等	各事項算出のための計算式等
店舗の来客者	地区の区分	その他地区	工業地域
	S:店舗面積	7,100 千 m ²	※7,100 m ² →7,100 千 m ²
	A:店舗面積当たり 日來客数原単位	950 人/千 m ²	人口 40 万人未満且つ店舗面積 5,000 m ² 以上 (鎌倉市人口 令和 7 年 6 月 169,885 人)
	B:ピーク率	14.4%	指針の基準値
	L:駅からの距離	500m	(駅名:湘南モノレール 湘南深沢駅)
	C:自動車分担率	70%	人口 10 万人以上 40 万人未満且つその他地区
	D:平均乗車人員	2 人/台	店舗面積 10,000 m ² 未満
	E:平均駐車時間係数	1.151	店舗面積 10,000 m ² 未満 (30+5.5S)/60
	F:必要駐車台数	391 台	A×S×B×C÷D×E(四捨五入)
その他の施設等の利用者	従業員通勤車両用	0 台	なし
	業務用車両用	0 台	なし
	搬出入車両用	0 台	荷さばき施設を別途確保
	併設施設の車両用	0 台	併設施設の面積は店舗面積の 2 割未満
	その他	0 台	なし
	G:その他の施設等必要 駐車台数計	0 台	なし
必要駐車台数合計		391 台	F+G
届出収容台数合計		391 台	

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

(1) 年間の平均的な休祭日のピーク1時間に予想される来客者等の自動車の方向別台数の算出

項目		予測来台数(台)	予測来台数の算出根拠
店舗の来客車両		340	別添資料-1「大規模小売店舗立地法手続きに係る交差点処理計画（仮称）鎌倉梶原商業施設 p.14 〈1〉ピーク時来台数及び必要駐車台数」参照
その他の施設等の利用者	従業員通勤車両	0	なし
	業務用車両	0	なし
	搬出入車両	0	専用出入口を別途確保
	併設施設の車両	0	なし
	その他	0	なし
予測来台数合計		340	—
駐車場入口	入口	340	別添資料-1「大規模小売店舗立地法手続きに係る交差点処理計画」（仮称）鎌倉梶原商業施設 p.5 参照
	予測来台数合計	340	—

(2) 駐車場の自動車の入口の形式

① 年間の平均的な休祭日のピーク1時間における駐車場の入口の入庫処理能力

駐車場入口	予測来台数(台)	入庫処理能力(台/h)	入庫処理能力算出のための計算式等
入口	340	450	$3,600(\text{秒}) \div 8(\text{秒}/\text{台}) = 450(\text{台}/\text{h})$
合計	340	—	—

※駐車場入庫ゲート等は設置しないため、立地法指針に示されている、処理能力 8 秒/台を適用しました。
(平面自走式駐車場)

別添資料-1「大規模小売店舗立地法手続きに係る交差点処理計画（仮称）鎌倉梶原商業施設」参照

② 敷地内駐車待ちスペース

駐車場入口	駐車待ちスペース(m)	必要な駐車待ちスペース	
		長さ(m)	算出根拠
入口	41.5	9.4	$[(340 \div 60) \times 1.6 - (450 \div 60)] \times 6 = 9.4$

※「図面 3 建物配置図及び 1 階平面図」参照

6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

項 目	具体的な内容
自動車の案内経路	別添資料-1「大規模小売店舗立地法手続きに係る交差点処理計画（仮称）鎌倉梶原商業施設 別紙来退店経路図(周辺)」のとおり
自動車の案内方法	
看板等の設置	設置場所:図面 3 建物配置図及び1階平面図のとおり 方式等:店舗周辺の交通円滑性の確保及び交通安全対策の観点から、駐車場入口に案内看板等を設置し、右折入庫禁止の案内を行います。
交通整理員の配置	配置場所:図面 3 建物配置図及び1階平面図のとおり 人数、配置日時等:オープン時、繁忙期の駐車場出入口に1名の交通整理員を適宜配置
チラシ等の配布	配 布 方 法:新聞折込チラシの掲載 内 容 等:駐車場へのアクセス経路や出入口の案内等、来店車両を円滑に誘導できる周知内容とします。
その他	駐車場出入口前面道路には可倒ポールを設置し、右折入庫を物理的に防止します。

7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

荷さばき施設①

時間帯	荷さばき車両		廃棄物収集車両	平均作業時間(分)	延べ時間(分)
	4t車(台)	2t車(台)	2t車(台)		
6時00分～7時00分	2	1	0	4t車 15分 2t車 15分 廃棄物収集車 10分	45
7時00分～8時00分	2	1	0		45
8時00分～9時00分	3	0	0		45
9時00分～10時00分	0	1	2		35
10時00分～11時00分	2	0	0		30
11時00分～12時00分	1	1	0		30
12時00分～13時00分	0	1	1		25
13時00分～14時00分	1	0	2		35
14時00分～15時00分	1	1	0		30
15時00分～16時00分	1	0	1		25
16時00分～17時00分	0	0	0		0
17時00分～18時00分	1	0	1		25
18時00分～19時00分	2	0	0		30
19時00分～20時00分	0	0	0		0
20時00分～21時00分	2	0	0		30
21時00分～22時00分	2	0	0		30
22時00分～23時00分	0	1	0		15
合計	20	7	7	—	—

※4t車 3 台分の作業可能スペースがあり、1 時間あたりの作業可能時間は 180 分になります。それに対しピーク時の延べ作業時間は 45 分であるため、十分に対応可能と考えております。

※平均作業時間については、既存店実態から想定される最大の作業時間から、荷さばき作業(2t車、4t 車)を 15 分、廃棄物収集作業(2t車)を 10 分と設定しております。

荷さばき施設②

時間帯	荷さばき車両	平均作業時間(分)	延べ時間(分)
	10t車(台)		
6時00分～7時00分	1	10t車 30分	30
7時00分～8時00分	2		60
合計	3	—	—

※10t車 1 台分の作業可能スペースがあり、1 時間あたりの作業可能時間は 60 分になります。それに対しピーク時の延べ作業時間は 60 分であるため、十分に対応可能と考えております。

※平均作業時間については、既存店実態から想定される最大の作業時間から、荷さばき作業(10t 車)を 30 分と設定しております。

8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面
防音壁の設置はありません。

9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

項目		稼働時間		位置
冷凍機室外機	01	00:00	～ 24:00	別添資料-2「大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測（仮称）鎌倉市梶原 新設計画」 「騒音源及び予測地点配置図」 (p.17～19)のとおり
	02	00:00	～ 24:00	
	03	00:00	～ 24:00	
	04	00:00	～ 24:00	
	05	00:00	～ 24:00	
	06	00:00	～ 24:00	
	07	00:00	～ 24:00	
	08	00:00	～ 24:00	
	09	00:00	～ 24:00	
	10	00:00	～ 24:00	
キュービクル	01	00:00	～ 24:00	
給湯器	01	00:00	～ 24:00	
	02	00:00	～ 24:00	
エアー搬送ファン	01	08:00	～ 22:30	
	02	08:00	～ 22:30	
	03	08:00	～ 22:30	
	04	08:00	～ 22:30	
	05	08:00	～ 22:30	
	06	08:00	～ 22:30	
除湿機	01	00:00	～ 24:00	
	02	00:00	～ 24:00	
	03	00:00	～ 24:00	
	04	00:00	～ 24:00	
空調機室外機	01	08:30	～ 22:30	
	02	08:30	～ 22:30	
	03	08:30	～ 22:30	
	04	08:30	～ 22:30	
	05	08:30	～ 22:30	
	06	08:30	～ 22:30	
	07	08:30	～ 22:30	
	08	08:30	～ 22:30	
	09	08:30	～ 22:30	
	10	08:30	～ 22:30	
	11	08:30	～ 22:30	
	12	08:30	～ 22:30	
	13	00:00	～ 24:00	
	14	08:00	～ 22:30	
	15	08:00	～ 22:30	
	16	08:00	～ 22:30	
	17	08:00	～ 22:30	
	18	08:00	～ 22:30	
	19	08:00	～ 22:30	
	20	08:00	～ 22:30	
	21	08:00	～ 22:30	
	22	08:00	～ 22:30	
	23	08:00	～ 22:30	
	24	08:00	～ 22:30	
	25	08:00	～ 22:30	
	26	08:00	～ 22:30	
	27	08:00	～ 22:30	

項目		稼働時間		位置
空調機室外機	28	08:00	～ 22:30	別添資料-2「大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測（仮称）鎌倉市梶原 新設計画」 「騒音源及び予測地点配置図」 （p.17～19）のとおり
	29	08:00	～ 22:30	
	30	08:00	～ 22:30	
	31	08:00	～ 22:30	
	32	08:00	～ 22:30	
	33	08:00	～ 22:30	
	34	08:00	～ 22:30	
	35	08:00	～ 22:30	
	36	08:00	～ 22:30	
	37	08:00	～ 22:30	
	38	08:00	～ 22:30	
	39	08:30	～ 22:30	
	40	08:30	～ 22:30	
	41	08:30	～ 22:30	
	42	08:30	～ 22:30	
	43	08:30	～ 22:30	
	44	08:30	～ 22:30	
	45	08:30	～ 22:30	
	46	08:30	～ 22:30	
	47	08:00	～ 22:30	
排気口	01	08:00	～ 22:30	
	02	08:00	～ 22:30	
	03	08:00	～ 22:30	
	04	08:00	～ 22:30	
	05	08:00	～ 22:30	
	06	08:00	～ 22:30	
	07	08:00	～ 22:30	
	08	08:00	～ 22:30	
	09	08:00	～ 22:30	
	10	08:30	～ 22:30	
	11	08:00	～ 22:30	
	12	08:00	～ 22:30	
	13	08:00	～ 22:30	
	14	08:00	～ 22:30	
	15	08:00	～ 22:30	
	16	08:00	～ 22:30	
	17	08:00	～ 22:30	
	18	08:00	～ 22:30	
	19	08:00	～ 22:30	
	20	08:00	～ 22:30	
	21	08:00	～ 22:30	
	22	08:30	～ 22:30	
	23	08:30	～ 22:30	
	24	08:30	～ 22:30	
	25	08:30	～ 22:30	
	26	08:30	～ 22:30	
	27	08:00	～ 22:30	
給気口	01	08:00	～ 22:30	

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

(1) 等価騒音レベルの予測の結果

時間の区分	予測地点			予測と評価	
	位置	高さ (m)	用途地域	予測値 (dB)	基準値 (dB)
昼間 [午前 6 時～午後 10 時]	A	1.2	工業地域	58.1	60
	B	4.2	工業地域	49.4	60
	C	4.2	工業地域	50.8	60
	D	4.2	工業地域	54.0	60
	E	1.2	工業地域	59.0	60
	F	19.2	工業地域	54.9	60
	G	16.2	工業地域	57.1	60
夜間 [午後 10 時～午前 6 時]	A	1.2	工業地域	46.9	50
	B	4.2	工業地域	38.0	50
	C	4.2	工業地域	39.1	50
	D	4.2	工業地域	42.3	50
	E	1.2	工業地域	46.8	50
	F	13.2	工業地域	44.1	50
	G	16.2	工業地域	47.2	50

※予測地点の位置については『別添資料-2 大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測（仮称）鎌倉梶原商業施設「騒音源及び予測地点配置図」p.17～19』のとおり

<評価>

昼間・夜間ともにすべての予測地点において環境基準値を下回ります。

静穏に努めて運用してまいります。近隣の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、状況を確認し適切に対応いたします。

(2) 等価騒音レベルの予測の算出根拠

別添資料-2「大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測（仮称）鎌倉梶原商業施設」参照

11 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

(1) 騒音発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測結果

騒音発生源		基準距離 における 騒音レベル (L _{pi})【dB】	予測地点			予測と評価	
			位置	高さ【m】	用途地域	予測値 【dB】	基準値 【dB】
定常騒音	冷凍機室外機 01	69.0	冷 01	11.6	工業地域	32.2	55
定常騒音	冷凍機室外機 02	69.0	冷 02	11.6	工業地域	30.7	55
定常騒音	冷凍機室外機 03	69.0	冷 03	11.6	工業地域	29.4	55
定常騒音	冷凍機室外機 04	69.0	冷 04	11.6	工業地域	28.2	55
定常騒音	冷凍機室外機 05	69.0	冷 05	11.6	工業地域	27.2	55
定常騒音	冷凍機室外機 06	69.0	冷 06	11.6	工業地域	32.2	55
定常騒音	冷凍機室外機 07	69.0	冷 07	11.6	工業地域	30.7	55
定常騒音	冷凍機室外機 08	69.0	冷 08	11.6	工業地域	29.4	55
定常騒音	冷凍機室外機 09	69.0	冷 09	11.6	工業地域	28.2	55
定常騒音	冷凍機室外機 10	69.0	冷 10	11.6	工業地域	27.2	55
定常騒音	キュービクル 01	46.5	キュ 01	12.0	工業地域	10.7	55
定常騒音	給湯器 01	50.0	湯 01	2.1	工業地域	40.5	55
定常騒音	給湯器 02	50.0	湯 02	2.1	工業地域	40.5	55
定常騒音	除湿機 01	58.5	除 01	11.0	工業地域	21.4	55
定常騒音	除湿機 02	58.5	除 02	11.0	工業地域	21.4	55
定常騒音	除湿機 03	58.5	除 03	11.0	工業地域	21.4	55
定常騒音	除湿機 04	58.5	除 04	11.0	工業地域	21.4	55
定常騒音	空調機室外機 13	50.0	空 13	0.9	工業地域	31.1	55
冷凍機室外機 01～10,キュービクル 01,給湯器 01～02, 除湿機 01～04, 空調機室外機 13 合成値			P1	11.6	工業地域	40.2	55

※予測地点の位置については『別添資料-2 大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測（仮称）鎌倉梶原商業施設「騒音源及び予測地点配置図」p.17～19』のとおり

<評価>

夜間における騒音レベルの最大値は、規制基準値を下回ります。

静穏に努めて運用してまいります。近隣の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、状況を確認し適切に対応いたします。

(2) 騒音発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の算出根拠

別添資料-2「大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測（仮称）鎌倉梶原商業施設」参照

12 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠
【指針により算出する場合】

	算 出 根 拠 等						必要保管容量
店 舗	廃棄物 種別	S 店 舗 面 積		A 1日当たりの廃 棄物等の排出予 測量(指針原単位×S)	B 平均保 管日数 (日)	C 見かけ 比重 (t／m³)	A×B÷C(m³)
	紙製廃棄物等	6,000m²以下の部分	6.000 千 m²	(1.248t)	1 日	0.10	12.60
		6,000m²超の部分	1.100 千 m²	(0.012t)			
				計 1.260t			
	金属製 廃棄物等	6,000m²以下の部分	6.000 千 m²	(0.042t)	1 日	0.10	0.45
		6,000m²超の部分	1.100 千 m²	(0.003t)			
				計 0.045t			
	ガラス製 廃棄物等	6,000m²以下の部分	6.000 千 m²	(0.036t)	1 日	0.10	0.38
		6,000m²超の部分	1.100 千 m²	(0.002t)			
				計 0.038t			
	プラスチック製 廃棄物等	6,000m²以下の部分	6.000 千 m²	(0.120t)	1 日	0.01	12.33
		6,000m²超の部分	1.100 千 m²	(0.003t)			
				計 0.123t			
	生ごみ等	6,000m²以下の部分	6.000 千 m²	(1.014t)	1 日	0.55	1.88
		6,000m²超の部分	1.100 千 m²	(0.022t)			
			計 1.036t				
その他の 可燃性廃棄物等	－	7.100 千 m²	0.383t	1 日	0.38	1.01	
リサイクル関連	算出根拠						必要保管容量
	対象なし						－
D:小売店舗必要保管容量計							28.66
そ の 他 の 施 設 等	施設	算出根拠					必要保管容量
	－	－					0
	E:その他の施設等必要保管容量計						0
必要保管容量合計(D+E)							28.66
届出保管容量合計							47.0